



NEWS RELEASE

2012年7月18日

シリコン・ラボラトリーズ、AM/FM レシーバ「Si477x」ファミリを発表 優れた高周波性能と、ハイエンド・コンスーマ/プロ・オーディオ機器のシステムコストを低減

卓越したアナログ設計技術で、高性能ミックスドシグナル IC を設計・販売するシリコン・ラボラトリーズ社(本社: ミネソタ州オースチン、Nasdaq: SLAB)は、ハイエンド・コンスーマ及びプロ・オーディオ機器市場向け AM/FM レシーバの新製品「Si477x」ファミリを発表しました。Si477x ファミリは、業界をリードする高周波性能をはじめ構成や設定の変更に対応できる高い柔軟性を実現する一方で、コンスーマ向け音声/画像受信機(AVR)及び FM モニタ、プロ・オーディオ受信機のコストと複雑性の低減に成功しました。

Si477x AM/FM レシーバは現在サンプル及び量産可能で、6 mm x 6 mm 40ピン QFN パッケージで提供します。10,000 個単位の参考販売価格は Si4770 が 5.26 米ドル、HD ラジオをサポートする Si4777 は 6.31 米ドルです。無線システム設計を容易にするために、シリコン・ラボラトリーズは Si4770-A-EVB 評価ボードを 500 米ドル、Si4770Module-A-EVB を 150 米ドルで提供します。シリコン・ラボラトリーズの Si477x AM/FM レシーバ製品の詳細、及びサンプルや開発ツールのご購入は、以下のサイトをご参照ください(www.silabs.com/pr/radio-receiver)。

オーディオ性能を最適化するために、ハイエンド・コンスーマ及びプロ・オーディオ向け機器メーカーは、マニュアルで調整された誘導子と複数の能動部品から個別の AM/FM レシーバを制作しています。この複雑で手作りの受信機設計は、設定や構成を制約するだけでなく、最終顧客が享受できるメリットは少なく、高コスト、高価な製造経費、長いテスト時間の原因となっています。この個別アプローチは、強信号環境におけるオーバーヘッドに悩まされるだけでなく、特に弱信号におけるオーディオ品質の劣化の原因となっています。これとは対照的に、シリコン・ラボラトリーズの AM/FM レシーバ設計では堅牢性が改善され、いかなる受信条件でも優れた音質を提供するだけでなく、システムコストと複雑性の両方を低減しています。

シリコン・ラボラトリーズの Si477x ファミリには、Si4770 グローバル・マルチ・バンド AM/FM レシーバと、HD ラジオチューナー機能をサポートする Si4777 AM/FM レシーバの 2 タイプがあります。シリコン・ラボラトリーズは、ハイエンド・コンスーマとプロ向けアプリケーションで構成部品点数(BOM)を大幅に低減するだけでなく、設計の自由度を向上させ大幅な性能向上を実現できるよう Si477x ファミリを設計しました。Si477x ファミリは、シリコン・ラボラトリーズの特許技術であるデジタル低中間周波数 (low-IF) アーキテクチャを活用して、最も要求の厳しい環境下で優れた音質を提供します。

Si477xファミリは、先進のDSPアルゴリズムを通して、卓越したRF感度、隣接及び代替チャンネルの選択性、線形性、及び音声再現の忠実度(audio fidelity)を提供しています。Si477x は、-3.5 dBµV の感度で100マイル(160キロ

メートル)離れたブックアップステーションで、0.7 μV の信号を受信することができます。Si477x ファミリのクラス最高の選択性(希望する局から ± 100 kHz 周波数オフセットで 65 dB と ± 200 kHz 周波数オフセットで 72 dB)は、今日の込み合った周波数環境において電波の強い局の中に埋もれている弱い局に合わせるための、新たな標準を提供します。

高線形性 RF フロントエンドと、洗練された RF 及び IF 自動ゲイン制御(AGC)及び最先端の動的帯域制御アルゴリズムの組み合わせを特長とする Si477x は、強信号環境において感度と選択性を最適化し、いかなる時でも、いかなる条件下でも優れた受信性能を実現しています。

また、Si477x は、都会でよく存在する複雑なマルチパス干渉条件下で、マルチパスによるフェーディングを解消し最適な性能を発揮するように設計された、オンチップ「セミプロの消費者(プロユーザー)」向け FM チャンネルイコライザーを特長としています。このイコライザーの特許技術である適合アルゴリズムは、ラジオ局の信号がビルやその他の大きな物体に反射したその局の同じ信号のタイミングがずれたバージョンとともに、受信機に届く時に発生するマルチパスフェーディングを補正します。イコライザーは、オーディオに適用される音声障害低減法をほとんど使用せずに音声の歪みを大幅に低減します。この高性能 FM チャンネルイコライザーはオーディオ業界においてこの類いでは最初の製品です。

Si477x ファミリは、シリコン・ラボラトリーズが推奨するデフォルトの特性設定で優れた性能を発揮するだけでなく、個別の要求に従って開発者がオーディオ及びシステム性能をカスタマイズすることが可能な、優れた柔軟性も兼ね備えています。この高度な設定及び構成能力によって、開発者は彼ら独自のオーディオ設計を微調整できるため、彼らのオーディオ製品ブランドに固有な特別な「音」を再現することができます。

シリコン・ラボラトリーズで、ブロードキャスト製品担当バイスプレジデント兼ゼネラルマネージャを務める James Stansberry はこうコメントしています。「当社の Si477x レシーバ・ファミリは、1デシベルの無線性能も無駄にすることなく最高の価値とシステムコストの節約を、ハイエンド・コンシューマとオーディオのプロに提供します。無線受信技術を評価するオーディオ機器の開発者が、Si477x ファミリが提供する RF 性能、シングルチップ構成、簡素な設計、及び設定・構成能力を高く評価してくれるものと確信しています。」

Si4770 と Si4777 はピン構成で互換性があるので、複数のハイエンドオーディオ機器プラットフォームにわたってシステム設計作業を簡略化できます。Si4770 と Si4777 のデバイスの実装面積は同じなので、開発者は1枚のボードを設計するだけで、HD ラジオと非 HD ラジオソリューション間が異なるバックエンドを持つ場合でも、Si4770 又は Si4777 のいずれかを使用することができます。

シリコン・ラボラトリーズ社について

シリコン・ラボラトリーズ社(Silicon Laboratories Inc.、本社: 米テキサス州オースチン、www.silabs.com)は、卓越したアナログ設計技術で高性能なミックスドシグナル IC を幅広いアプリケーション向けに設計する、業界大手半導体メーカーです。シリコン・ラボラトリーズ社の多様な高集積製品と特許は、ミックスドシグナル設計において長年にわたる経験と実績を有する業界最先端のエンジニアリング部門が開発しています。シリコン・ラボラトリーズ社は、北米、ヨーロッパ、アジアの各地に設計、エンジニアリング、マーケティング、販売、アプリケーションの拠点を置いています。会社概要・事業内容の詳細は、www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えますが、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会(SEC)へ最近提出した書類をご覧ください。

###

Silicon Laboratories, SiLabs 及び Silicon Laboratories ロゴは、Silicon Laboratories Inc.の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ社 Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: +1-512-532-5871 E メール: dale.weisman@silabs.com

公式 Twitter アカウント <http://twitter.com/silabs>

公式 Facebook アカウント <http://facebook.com/siliconlabs>

ミアキス・アソシエイツ 河西

TEL: 0422-47-5319 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Y.K.

TEL: 03-5460-2411(代表) www.silabs.com